

【国文学研究資料館の「新古典籍総合データベース」にて古典籍資料7点がデジタル公開されました】

国文学研究資料館と三康文化研究所は、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画(略称:歴史的典籍NW事業)」プロジェクトにおけるデータベース構築に取り組み、三康文化研究所附属三康図書館(以下「三康図書館」)が所蔵する古典籍約1万点(江戸時代以前の本)の一部7点80冊(軸)を6月9日にデジタル公開しました。

「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画(略称:歴史的典籍NW事業)」は、国文学研究資料館が中心となって、国内外の大学等と連携し、「日本語の歴史的典籍」(江戸時代までに日本人によって書かれた書物)に関する国際共同研究ネットワークを構築することを目的とした事業です。各機関が所蔵する貴重な資料がデジタル化されデータベース上に画像公開されています。場所を問わずに閲覧し、利活用に繋げることができます。

今後も国文学研究資料館にて三康図書館が所蔵する貴重資料のデジタル化を進めていただき順次公開予定です。

『保元物語 新板絵入／保元物語』と『保元物語 新板絵入／平治物語』は三康図書館職員が作成した翻刻データ(くずし字で書かれた本文を楷書体に置き換えて読みやすくしました)も含まれています。画像データと共にご活用ください。

画像は以下のサイトで公開されています。

- ・新日本古典籍データベース(国文学研究資料館)
- ・三康図書館 画像一覧(国文学研究資料館)

※今回公開された画像は、CCライセンス(この条件を守れば自由に使って構いませんという表示)に従ってご利用いただけます。

CCライセンスは、CCBY-NC(表示-非営利)と表示されています。原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的であることを主な条件に、改変したり再配布したりすることができます。

2022年6月9日

三康図書館